

第5回の一流塾は、講師に一柳塾長と牧野明次氏(岩谷産業(株) 代表取締役会長兼 CEO)、懇親会の特別ゲストには渡部恒三氏(衆議院議員、元衆議院副議長、民主党最高顧問)をお迎えしました。



第1部は、『元氣と知恵の経営』と題して一柳塾長が講義を行いました。一柳塾長は、本人の地獄の体験と現場からの学びに基づいて経営上のヒントとなる知恵について具体的な例をあげて披露しました。例えば『早専開』(はよせんかい!)の必要性について、『開』は自前主義からの脱却を意味し、今の時代はアライアンスを作って臨むべきであるとの考え方を示しました。また、良い経営者が持っている3つの要素等にも触れ、一度きりの人生を明るく楽しく前向きに頑張りたい、これは仕事にも言えることだと塾生を激励しました。講義後も活発に質疑応答が行われ、塾生からは「良い経営者の3つの資質について大変感銘を受けた」、「『早専開』など大変参考になるキーワードが満載で大変勉強になった」、「実体験に基づいたお話は迫力や具体性があり大変楽しく聞けた」といったコメントがありました。



第2部では、『創業精神を継承し進化を追求する企業へ一失敗から学んだこと』と題して牧野氏が講義を行いました。牧野氏は、労働組合委員長を経て経営トップへ就任するまでに至る経緯について、労々対立での戦いや、営業所や子会社の立て直しなど、現場で数々の修羅場を経験されたエピソード等を交えてご披露頂きました。また、創業者から指名され社長に就任してから遭遇した負の遺産の処理や失敗から学んだことなどについても触れ、経営者としての気持ちの持ち方や経営トップとしての心構えについての持論もお話を頂きました。塾生からは、「現場を見て戦略を立てる冷静沈着な面もありながら、命がけでという改革に対する情熱や闘争心をもって事に当たられているところに大変感銘を受けた」、「労組の委員長から経営者となっても一貫してぶれない考え方や視点に感銘した」等の声が寄せられました。

講義後の懇親会では、冒頭、塾特別顧問の福川伸次氏(ジェットスター・ジャパン(株)会長)に乾杯のご挨拶を頂き、7月に行われた塾の合宿についての感想や最近の原発問題への対応を例に取り上げ政治家は部分よりも全体最適でものを考えて決断すべきであるとお話を頂きました。

続いて、特別ゲストの渡部恒三氏からは『現下の政治情勢について』と題し卓話を頂きました。渡部氏は、今後控えている民主党や自民党の総裁選挙の話題から、選挙制度や政党助成金に対する持論についてもふれ、戦後65年を過ぎた今はまさに国難の時であり、今ほど政治が大事な時はなく、今後の日本を非常に心配している旨述べられました。また、半世紀にわたる政治家としてのキャリアを振り返る中で、衆議院初当選を果たして自民党に公認された当時の話や消費税を導入した竹下内閣で国対委員長を務めた時の話等「ここだけの秘話」を独特のユーモアを交えた語り口でご披露頂きました。渡部氏には講師や塾生との記念写真の撮影にも応じて頂き、その後も各テーブルで交流が活発に行われました。



懇親会後に塾生有志が塾長を囲んで行われた放談会では、冒頭、参加塾生から塾の感想や塾への要望・意見を一人ずつ発表してもらいました。その後も真面目な話からやわらかい話まで様々な話題で一同大いに盛り上がり、合宿を経て絆が深まった塾長と塾生らが袂を脱いで和気藹々と深夜まで楽しく過ごしました。